

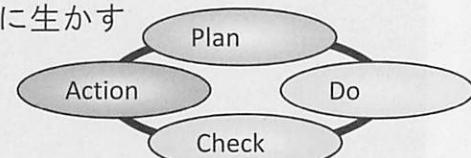
# 14

## 全国学力・学習状況調査について

# 全国的な学力調査の実施

## 調査の目的

- 国としては、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の改善・充実に生かす
- 教育委員会としては、自治体や学校の学力水準を検証し、教育委員会の施策の改善・充実に生かす
- 学校としては、個々の児童生徒の学習状況を把握して指導に生かすとともに、  
学校全体として指導方法の検証・改善につなげる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する



## 調査の概要

- 調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒
- 対象教科：
  - ①教科に関する調査（国語A・B、算数・数学A・B）
    - A：主として「知識」に関する問題
    - B：主として「活用」に関する問題
  - ※平成24・27・30年度は「理科」を追加。  
理科は3年に一度程度実施
  - ※平成31年度からは中学校「英語」を追加。  
英語は3年に一度程度実施
  - ※平成31年度からは「知識」と「活用」を一体的に問う  
問題構成で実施
- ②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査  
(児童生徒に対する調査／学校に対する調査)

## 31年度調査の実施（予定）

- 調査日：平成31年4月18日（木）
- 調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒  
(悉皆調査)
- 対象教科：国語、算数・数学、英語（中学校）  
(児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施)

※中学校の英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」全体で45分程度、「話すこと」は15分程度（調査問題5分程度、準備や入退室に係る時間10分程度）を想定。なお、「話すこと」調査は、音声録音方式により一学級が同時に調査を行うことを想定している。

## 32年度調査の実施（予定）

- 調査日：平成32年4月16日（木）
  - 調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒  
(悉皆調査)
  - 対象教科：国語、算数・数学  
(児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施)
- ※経年変化分析調査及び保護者に関する調査を抽出方式で実施予定。

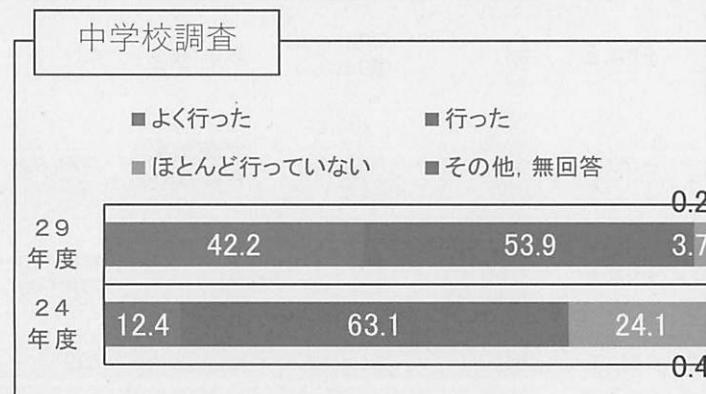
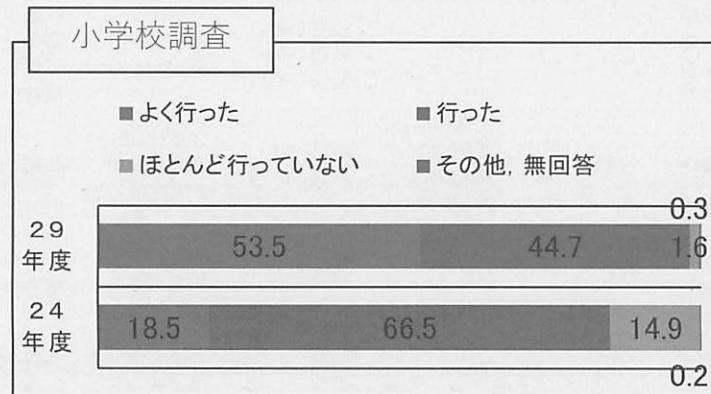
## 30年度調査の実施

- 調査日：平成30年4月17日（火）公表日：平成30年7月31日（火）
  - 調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒  
(悉皆調査)
  - 対象教科：国語、算数・数学、理科  
(児童生徒、学校に対する質問紙調査も実施)
- ※英語調査実施に向けた予備調査を抽出方式で平成30年5月に実施。

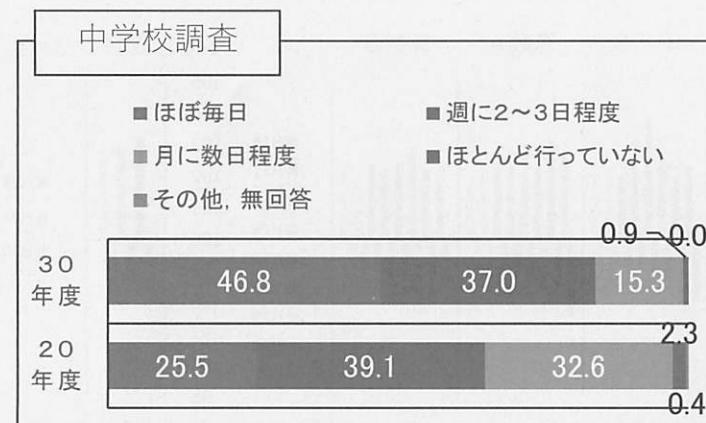
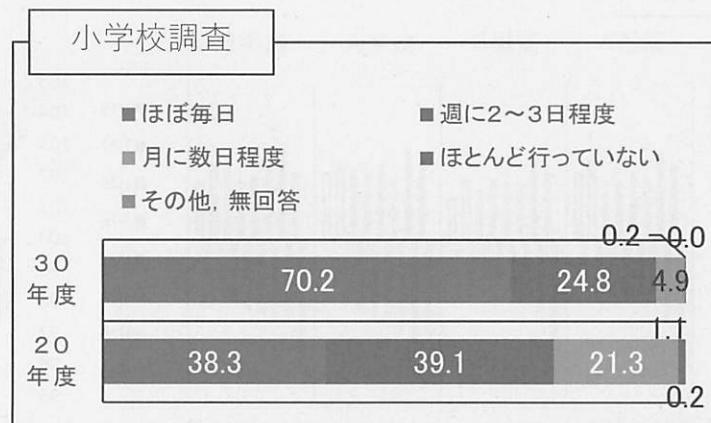
# これまでの実施を振り返って

## 学校現場レベルにおけるPDCAは根付いてきている

- 全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか  
(学校質問紙調査)※24年度からの調査項目



- 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか (学校質問紙調査)※20年度からの調査項目



# これまでの実施を振り返って

## 都道府県間の平均正答率の相対的な差が縮まってきている

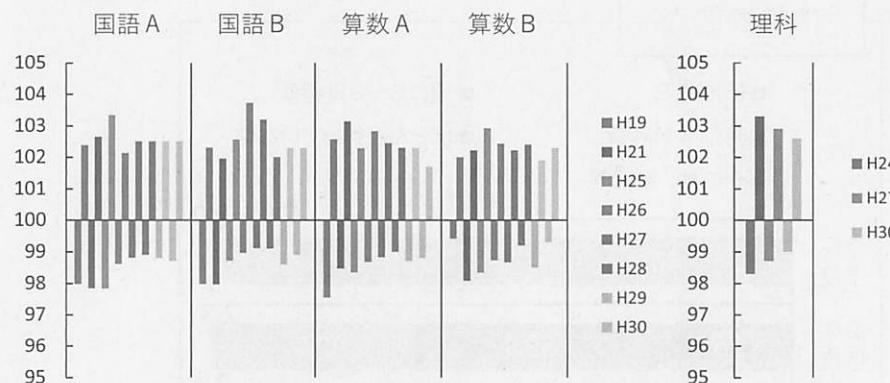
### ○平均正答率が全国平均から±5ポイント以上離れている都道府県の状況

		小学校					中学校				
		国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
平成19年度 (理科は平成 24年度)	+5以上	なし	秋田(+7.0) 香川(+6.0)	秋田(+6.3)	なし	青森(+5.0) 秋田(+7.5) 石川(+5.7) 福井(+6.2)	なし	なし	福井(+8.4) 秋田(+5.6) 富山(+5.3)	福井(+7.0) 富山(+5.3)	秋田(+5.1) 富山(+5.8) 石川(+5.3) 福井(+6.8)
	-5以下	なし	沖縄(-9.4)	北海道(-5.3) 沖縄(-5.9)	沖縄(-9.2)	沖縄(-5.4)	沖縄(-7.4)	大阪(-6.7) 和歌山(-5.4) 高知(-7.7) 沖縄(-8.1)	高知(-9.0) 沖縄(-14.6)	大阪(-5.6) 高知(-10.0) 沖縄(-13.2)	沖縄(-9.6)
平成30年度	+5以上	秋田(+6) 石川(+6) 福井(+5)	秋田(+6) 石川(+7)	なし	秋田(+6) 石川(+8)	秋田(+5) 石川(+5)	なし	なし	福井(+6)	福井(+6)	石川(+5) 福井(+5)
	-5以下	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	沖縄(-7)	沖縄(-7)	沖縄(-5)

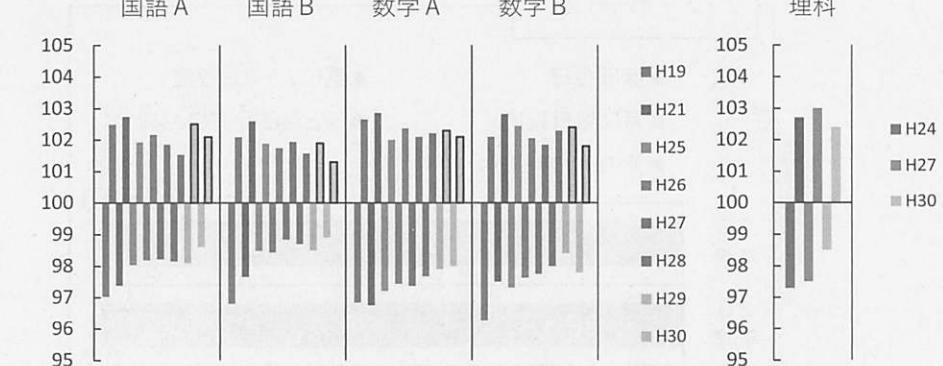
### ○標準化得点の状況

平成19・21・25・27・28・29・30年度で、平均正答数(公立)が高い3都道府県と低い3都道府県の標準化得点の平均を算出

小学校



中学校



※ 標準化得点・・・各年度の調査は問題が異なることから、平均正答率による単純な比較ができないため、年度間の相対的な比較をすることが可能となるよう、各年度の調査の全国(公立)の平均正答数がそれぞれ100となるように標準化した得点

# 平成30年度・31年度調査の主な変更点

## 平成30年度調査

### ○ 調査結果提供の早期化

- ・ 8月中下旬 → 7月下旬(平成30年度以降)
- ・ 夏季休業期間を分析等に活用し、2学期からの指導改善等を一層充実

### ○ 学校・学級ごとに、「学校/学級別解答状況整理表(S-P表)」を作成・提供

- ・ 全国的な傾向との比較
- ・ 学校・学級ごと、児童生徒ごとの「重点的に指導をすべきと考えられる設問」の把握等により、学習上の課題を明らかにし、教育指導の改善・充実に活用

### ○ 質問紙調査の調査項目の精選

- ・ 調査の負担軽減等の観点から、児童生徒質問紙、学校質問紙とともに、調査項目を整理・削減
- |         |     |      |       |      |      |      |       |      |      |
|---------|-----|------|-------|------|------|------|-------|------|------|
| 児童生徒質問紙 | 小学校 | 92項目 | →     | 62項目 | 中学校  | 94項目 | →     | 59項目 |      |
| 学校質問紙   |     | 小学校  | 111項目 | →    | 84項目 | 中学校  | 109項目 | →    | 81項目 |

## 平成31年度調査

### ○「知識」と「活用」を一体的に問う問題構成で実施

### ○ 中学校「英語」を追加

- ・ 英語は3年に一度程度実施。
- ・ 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の4技能の調査を実施。
- ・ 「話すこと」調査については、学校のパソコンとUSBを活用した方法により実施。所要時間は、生徒1人当たり10～15分程度(準備5～10分程度を含む)。

## 平成31年度の教科に関する調査について

- 国語、算数・数学については、1単位時間で、知識と活用とを一体的に問う形の調査区分で調査を実施。
- 英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の1単位時間に加え、「話すこと」の調査を実施。「話すこと」調査については、学校のパソコンとUSBを活用した方法により実施。所要時間は、生徒1人当たり10～15分程度(準備5～10分程度を含む)。)

### (参考)平成31年度の時間割のイメージ

#### 小学校

1時限目	2時限目	3時限目
国語 (知識・活用一体) (45分)	算数 (知識・活用一体) (45分)	児童質問紙

※国語、算数・数学の1単位時間での調査時間は、  
小学校40分→45分、中学校45分→50分に変更

#### 中学校

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目 ※2	5時限目 ※1	6時限目 ※1
国語 (知識・活用一体) (50分)	数学 (知識・活用一体) (50分)	英語 (聞くこと、読むこと、書くこと) (45分)	生徒質問紙	英語(話すこと) (15分×3組) 1/2/3組	英語(話すこと) (15分×3組) 4/5/6組

※1 準備できるパソコンの台数等に応じて、各学級の割当て等を柔軟に行うことを可能とする。

(例：パソコンが80台ある場合、5時限目に、1・2・3・4・5・6組として実施 等)

※2 7学級を超える学校については、4時限目を「英語(話すこと)」の調査に充てるこども可能とする。

# 平成31年度 中学校英語の「話すこと」調査について

○ 中学校英語の「話すこと」調査では、各学校のPC端末、配布するUSBヘッドセット及びUSBメモリを活用し、音声録音方式により、一学級が同時に調査を実施する。

## 来年度の中学校英語「話すこと」調査の手順

事前準備

① 調査プログラムをWebシステムから学校のPCにダウンロード

実施

② 調査プログラムを生徒用PCに展開(コピー)

③ 各PCで調査を実施(音声データはPC内のローカルドライブに保存)

回収

④ 調査実施後にUSBメモリを用いて音声データを回収

※生徒用PC1台1台から回収する方法の他に、サーバ経由で解答データを回収し、サーバからUSBメモリを用いて全解答データを回収することも可能(詳細は別途ご連絡)

削除

⑤ 各PC内の残データを削除

## 確認事項(一例)

### ■各PCの性能、OS(基本ソフトウェア)の確認

OS: Windows7 以上

HDD: 空き2GB以上

メモリ: 4GB以上

その他: USB空きポート  
1ポート以上

### ■セキュリティ環境や環境復元ソフト等の確認

※一時的な設定変更が必要となる可能性があります

## 【調査実施に向けた今後のスケジュール】

30年11月頃～

学校基本情報の確認(学校数、ICT環境の確認)

30年12月頃～

「平成31年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」の公表、参加意向調査への回答

31年 1月頃～

学校基本情報の確認(必要資材数等の確認)/「事前検証ツール」による検証開始

31年 2月頃～

調査マニュアルの受領

31年 3月中下旬～

調査プログラムのダウンロード及び解凍、展開 ※展開後は情報漏洩がないよう注意が必要

31年 4月上旬～

学校質問紙への回答

31年 4月17日(水)

調査資材の受領、準備

31年 4月18日(木)

調査実施

より詳細な資料は文部科学省ホームページをご参照ください